

# ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

2

皆様に支持の得られる  
病院づくり

町国保病院院長に一条正彦医師が就任

4

第51回本別山溪つつじ祭り  
国民年金コーナー

6

本別町と浦幌町を結ぶ  
「生活維持路線」の運行が  
始まりました

8

水道工事・下水道工事にご協力を

10

心に響く書との出会い  
「相田みつを展」

12

第24年次本別町・南三陸町  
ふるさと交流研修会

- まなび白書……………14
- ハロー本別中学校……………15
- マイタウン……………16
- みんなの健康・銀河ホットライン……………18
- ご寄付ありがとうございました……………19
- 本のある暮らし・わたしたちのまち……………20



## 夢いっぱい1年生

4月8日、在校生や父母などに見守られる中、町内3小学校（中央、勇足、仙美里）で入学式が執り行われました。いよいよ「夢いっぱい」の小学校生活のスタートです。



## 町国保病院院長に 一条正彦医師が就任

### オーダーリングシステム (検査・処方などに係る 情報伝達システム)を導入します

国保病院では本年度、オーダーリングシステム(検査・処方などに係る情報伝達システム)を導入します。このシステムは、これまで、医師が紙に書いていたオーダ(検査内容や処方箋)をコンピュータに入力することにより、関連部門の業務にオーダが連動し、それ以降の診療から医事会計にかかわる処理・業務を迅速化するものです。これにより、意思伝達が簡素化され、聞き間違いや伝達過程による間違いがなくなり、医療現場では絶対に起こしてはいけないミスを防ぐ効果があります。また、投薬に関連する業務や検査などの各種伝票の作成・運搬・調整などの業務が大幅に縮小されることにより、スタッフが患者様のベッドサイドに行く時間やケアの充実など、患者様へのさらなるサービス向上や、伝達時間の縮小による患者様の待ち時間を短縮する効果も期待できます。

## interview

4月1日から町国民健康保険病院の院長に一条正彦医師(52歳)が就任し、診療にあたっています。

一条院長は札幌市出身。昭和57年に札幌医科大学医学部を卒業後、釧路市立病院、滝川市立病院など主に道内の公立病院に勤められた後、平成3年に町国保病院に外科医として着任し、翌年から副院長を務める。趣味は旅行。

一条院長は新体制で病院運営を臨むに当たり、常勤医が六人体制(内科三人、外科二人、耳鼻咽喉科一人)での診療は、十分な体制とはいえないが、「町民のために現在の機能を低下させることなく病院を運営していくことが大切」と話し、ニーズに合わせるため診療科目も増やしていければと意欲をのぞかせました。

また、「病院には約100人のスタッフが働いているが、その雇用確保や、耐用年数を迎える医療機器の更新など様々な課題もあり、

少なからず町からの支援も必要である。そのため、町民皆様に支持される体制づくりに取り組み、地域にとって必要な病院づくりを推進したい」と課題についても提起しました。

今後、「町民皆様の支持を得た、地域の中での病院づくりを進めるために、患者様の立場になった医療や接遇、在宅も含めた福祉との連携を推進するとともに、患者が年々増加している人工透析も充実をして、十勝東北部の中心的な役割を担いたいと話されました。

## 北岡医師が 内科外来診療に

四月から北岡文生医師が内科の診療に入っています。「北岡先生って外科の先生じゃなかったっけ」と思われた人もいると思います。

北岡先生は消化器病専門医です。消化器とは、口から肛門までの消化管に消化液を分泌する器官の総称で、治療は場合によって手術という外科的な領域になります。

しかし、一般の患者様で、お腹が痛かったり、胸が苦しくなったりしたとき、いきなり外科にかかる人は少ないと思います。このような方々に受診していただき、消化器系の診察もじっくりし、その人にあった治療方法を提供できるように週一回、内科の外来診療に入ってもらっています。

これからも、町立病院では患者様が安心して病院にかかれるよう努力してまいりますので、身体に不安なことがありましたら、お気軽にご来院ください。

## 診療体制のご案内

【町国保病院の診療体制が5月7日から次の通り変更になります】

		受付時間	診療時間	担当医師				
				月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	午前	7:30~11:30	8:45~12:00 (医師の診察開始時間は9:00)	磯村	藤沢	北岡	藤沢	磯村 第1・3週 丹呉
	午後	11:45~16:30	13:30~17:15	柴田	菅原	藤沢	磯村	休診
・藤沢医師の外来診療(初診以外)は予約診療です。最初の診療はこれまでどおりの受診となり、2回目以降の診療は予約制となります ・丹呉医師の外来診療は再診患者様が対象です。毎月第1・3週の金曜日午前、第2診察室での診察となります								
ものわすれ外来	午後	11:45~15:30	14:00~16:00	—	第2・4週 藤沢	—	—	—
・予約診療となります								
外科	午前	7:30~11:30	8:45~12:00 (医師の診察開始時間は9:00)	一条	一条	一条	北岡	北岡
	午後	11:45~16:30	13:30~17:15	北岡	手術	手術	一条	一条
小児科	午前	7:30~11:30	8:45~12:00	—	—	—	札幌医大	—
	午後	11:45~15:30 第2・4・5週の 水曜日は16:30まで	13:30~16:30 第2・4・5週の 水曜日は17:15まで	—	—	第2・4・5週 札幌医大	札幌医大	—
眼科	午後	11:45~16:00	13:30~17:15	—	—	—	—	中村
・診察の場合は予約が必要です。予約表を持参し、直接眼科受付へお越しください ・2回目以降で「お薬」のみの場合は予約の必要はありません。再来機をご利用ください								
耳鼻咽喉科	午前	7:30~11:30	8:45~12:00 (医師の診察開始時間は9:00)	郡山	郡山	手術	郡山	郡山
	午後	11:45~16:30	13:30~17:15	休診	手術	こども外来 郡山	休診	休診
・初診以外(2回目以降)は予約診療となります ・第3水曜日は午前のみ診察で、翌日の木曜日が午後のみ診療となります								

※禁煙外来は当分の間、休診となります



# 第51回本別山溪

# つつじ祭り

## 5月10日(日)

### 午前10時から

### 義経の里本別公園

小雨  
決行

第五十一回

本別山溪つつじまつり

(実行委員会主催)が

五月十日、本別公園で

開催されます。

今年も

子供たちに大人気の

ふわふわランドのほか、

お笑いステージや

ジャンボ義経鍋など、

盛りだくさんの催しで

皆さんをお待ち

しています。

一万六〇〇〇株の

つつじ咲く本別公園で

楽しいひとときを

過ごしませんか。

## 主な催し物

- ◇にじます放流・釣り
  - ◇ブルーベリー苗無料配布
  - ◇ジャンボ義経鍋
  - ◇野点
  - ◇ふわふわランド
  - ◇ゲーム大会
  - ◇モデル撮影会
  - ◇牛乳無料配布
  - ◇ステージショー
- お笑いライブステージ



大西ライオン  
お笑いライブステージ  
午後0時45分から

お問い合わせ

実行委員会事務局 本別町役場 企画振興課商工観光

元気まち担当 ☎022-81221



# 国民年金

その85

## 国民年金任意加入制度について

国民年金の年金額は、原則として20歳から60歳までの加入期間・納付状況によって決定されます。保険料免除期間がある場合や、やむを得ない事情により過去に保険料を納められなかった期間がある、または国民年金に加入していない期間があるなどで満額の年金を受け取ることができない人は、60歳到達後本人の申し出により、任意で国民年金に加入(平成21年度の1か月の保険料は1万4660円)することで年金額を増額することができます。

### 加入のできる人

- ①日本国内に居住する60歳以上65歳未満の人
- ②老齢基礎年金の繰り上げ支給を受けていない人
- ③20歳から60歳までの年金保険料の納付月数が480か月未満の人

※この①～③までのすべての条件を満たす人が対象となります

※任意加入で納付できる月数は最大で60か月(5年間)です。60か月納付した場合、年額で9万9000円増額します

※①～③に該当していても、申し出時に厚生年

金保険、共済組合に加入している人は、任意加入することができません

## 日本年金機構の愛称&シンボルマーク募集!

平成22年1月から、現在社会保険庁が行っている厚生年金保険・国民年金などの公的年金制度の業務運営は、日本年金機構が行うこととなります。日本年金機構について、広く国民の皆さんに知っていただき、公的年金制度への理解を深めていただくため、愛称およびシンボルマークを募集します。

### 募集内容

- ①愛称(略称)
  - ②シンボルマーク
- ※親しみやすく、呼びやすいもので公的年金制度の業務運営を行う年金機構がイメージできるもの
- ※シンボルマークは簡単なカラー表現で、かつ一色でも表現できるもの

■募集期限 5月29日(金)まで

■応募および問い合わせ先

日本年金機構設立準備事務局

〒100-8945

東京都千代田区霞が関1-2-12

☎03-5253-1111(代表) 内線3616

ホームページアドレス <http://www.nhlw.go.jp/>

Eメールアドレス [nenkinaiho@nhlw.go.jp](mailto:nenkinaiho@nhlw.go.jp)



詳しくは

住民課戸籍年金担当へ

☎022-812200(課直通)



# 水道工事・下水道工事にぜひ協力を

今年度も水道工事・下水道工事  
計画図の通り行います。

水道工事の際には、一時断水や多  
少水が濁ったりする場合があります。  
下水道工事では、個所によっ  
ては工法上、作業中に車両通行止  
めのところも出るため、回りの  
案内標識をご確認の上、通行をお  
願いします。

皆さんにはご不便をお掛けしま  
すが、ご協力をお願いします。

## 下水道の普及状況は

町公共下水道は皆さんの温かいご理  
解で、平成三年三月末に供用を開始した後  
も順調に進み、二〇年度末で整備面積が  
二六七〇(事業認可面積三五七〇中)、  
管きよ(下水道の埋設)の総延長は五〇  
kmとなりました。

二〇年度の水洗化など(トイレ、台所、  
風呂)の状況は、改造工事および新築に  
よる接続を合わせて三五件(個人、法人、  
団体すべてを含む)、これまでの累計で  
二、四二五件となり、水洗化率は八六・  
一六%となりました。

## 水洗化改造工事に 融資・補助制度が あります

融資あっせん制度は融資額の上限が六  
〇万円。自己資金で工事を行った人への  
補助金の上限は六万円となっています  
(供用後三年以内に工事をされた場合)。  
三年を過ぎてから工事を行った場合は、  
一年経過ごとに上限の額が少しずつ低  
くなり、補助については五年で打ち切りと  
なります。

## 工事の申し込みは 町の指定業者へ

給水装置の新設、改造、修繕、撤去な  
どの水道工事や水洗化改造工事を行うと  
きは、町が指定した指定工事業者へ工事  
の申し込みをしてください。  
指定工事業者が建設水道課へ必要な手  
続きや、水洗化工事における融資あっせ  
ん制度、補助金制度の手続きを取り、工  
事を行います。

### 問い合わせ

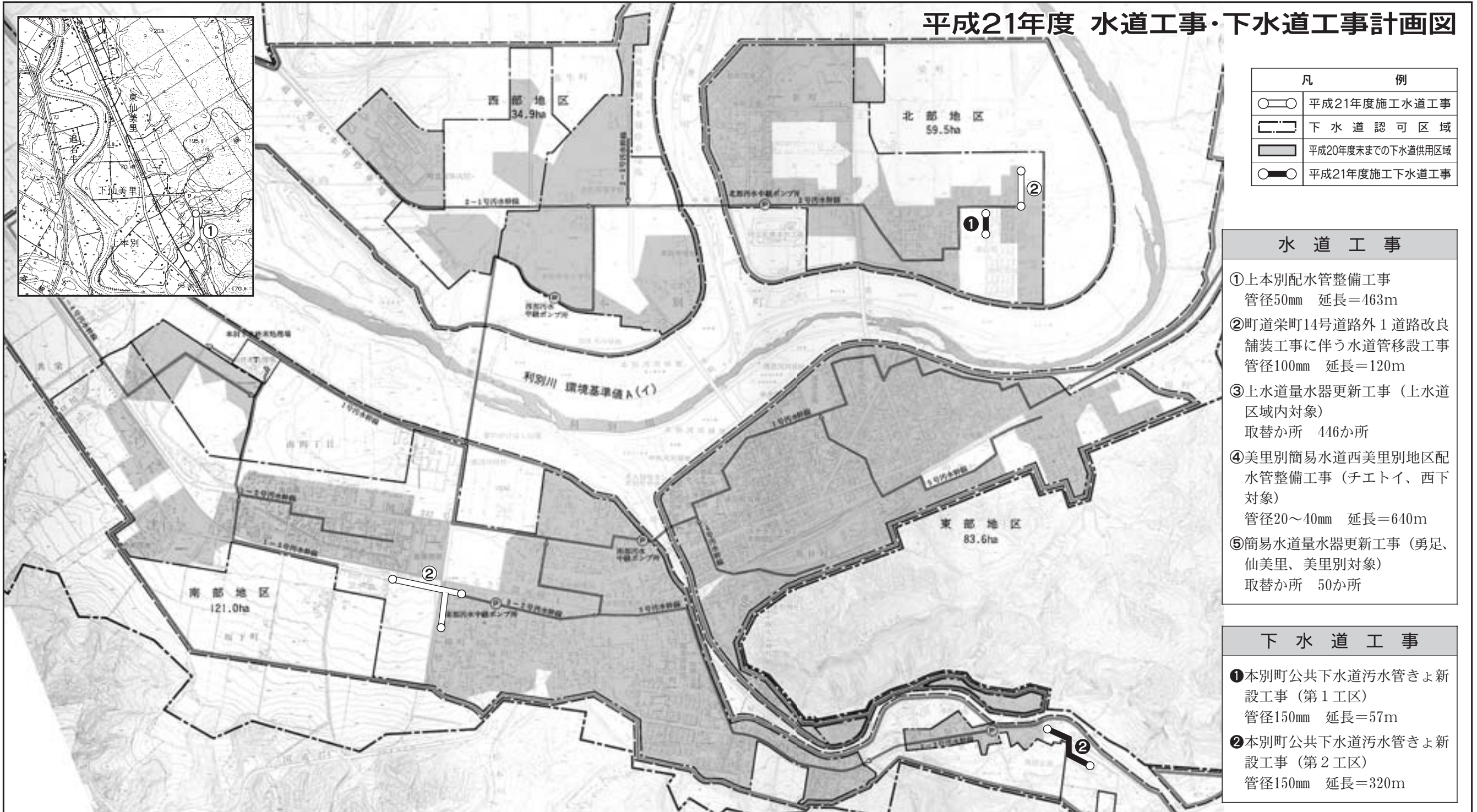
建設水道課

水道・下水道担当

☎22218122

(課直通)

平成21年度 水道工事・下水道工事計画図



# ほんべつ学びの日 光風事業

子どもが明るく心豊かに成長できるように、  
そして大人も心から元気になることを願って

心に響く書との出会い

## 「相田みつを展」

平成十九年九月十一日の「ほんべつ学びの日」宣言から三年目を迎え、今年度は「相田みつを展」を「ほんべつ学びの日」光風事業として開催します。

子どもから大人まで幅広い年代の皆さんが相田みつをの作品を見て、読んで、感じることで勇気や希望を持ち、そして心から元気になって欲しいと願っています。  
この機会に改めて家庭・学校・地域が一体となって、地域の宝である子供たちを育むことの大切さや私達大人の学びの必要性を、優しいことばを通して感じてください。作品をゆっくり鑑賞し、本当の心の豊かさや感動を味わいませんか。

期間 平成21年 9月16日(水)～10月4日(日)

ところ 中央公民館大ホール

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時まで)  
※土・日曜日、祝日は午後8時(入館は午後7時まで)

入館料 <一般> 前売り500円(期間中は600円)  
<高校生> 前売り250円(期間中は300円)  
<フリー> 1,000円(期間中何度でも入場可)  
<幼児、小中学生および学校の授業での入館> 無料  
※団体割引(10人以上) 一般500円/1人 高校生250円/1人

チケット販売所 中央公民館、町体育館、図書館、役場勇足・仙美里出張所  
本別町芸術文化事業振興会各理事宅、藤丸チケットぴあ ほか  
※前売り券は、5月15日(金)から販売します

主催 本別町・本別町教育委員会

共催 本別町芸術文化事業振興会

後援 北海道新聞社本別支局・十勝毎日新聞社本別支局・本別町文化協会

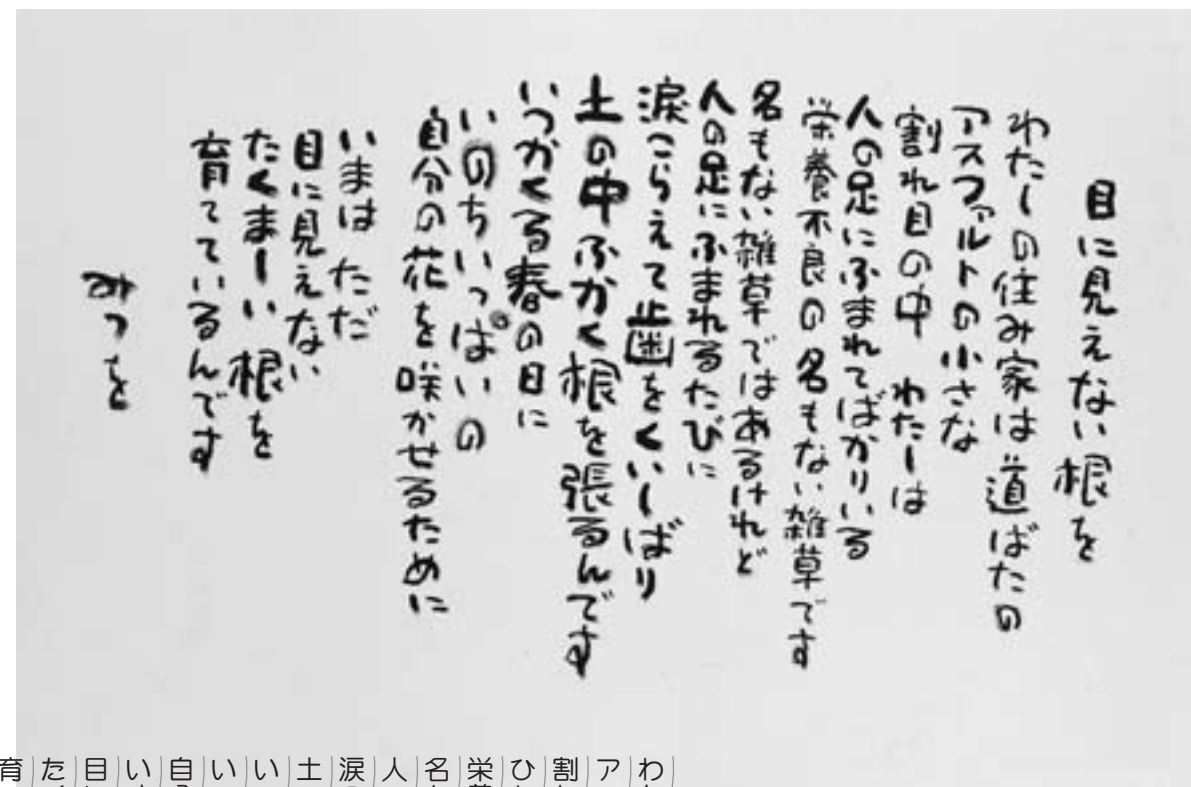
特別協力 相田みつを美術館

協力 テレビ朝日・HTB

本展では、相田みつを美術館収蔵の書、詩、ろうけつ染め、デザイン、愛用品など、約70点を展示し、相田みつをの世界を様々な角度から紹介します

### 相田みつを

1924年栃木県足利市生まれ。書家・詩人として誰の真似でもない、自分の言葉、自分の書を探しつづける。戦中、戦後の動乱期に青春時代を過ごし、「いのち」の尊さを見つめながら、独自のスタイルを確立し、たくさんの作品を残しました。相田みつをの作品は、見ればすぐにわかる書体で、あまりに個性的。しかし、その作風はいきなりできあがったものではありません。17歳から本格的な書を勉強し、長い試行錯誤を経て、独自の書体にたどり着いたのです。相田みつをの独特な書。身近なものではカレンダーなどをはじめ、いろいろなところで目にしたことがあると思います。彼は61歳の時に、日めくり用に作品を書き下ろしたことから、相田みつをの書を初めて目にしたのはトイレだったという話もよく耳にします。



つらい時、苦しい時、見る人に生きる勇気を与えてくれる相田みつをが残したところに響くことばの数々。その作品では、自分の弱さや甘えを正直にさらけ出し、人間である自分があるがままに表現されています。また、いまを生きる人々の心の中に、時にはしみじみと、またある時には力強く語りかけてきます。今なお、世代を越えて多くの人に愛され、読みつかれ、感動を与えてくれます。

目に見えない根を  
わたしの住み家は道ばたの  
アスファルトの小さな  
割れ目の中 わたしは  
ひとの足にふまれてばかりいる  
栄養不良の名もない雑草です  
名もない雑草ではあるけれど  
人の足にふまれるたびに  
涙こらえて歯をくいしばり  
土の中深く根を張るんです  
いつか春の日には  
いのちいっぱい  
自分の花を咲かせるために  
いまは ただ  
目に見えない  
たくましい根を  
育てているんです  
みつを

お問い合わせ  
中央公民館内文化振興担当 ☎ 22-5111

3月28日(土)



**みんなでサンドイッチ作り**  
班でどんなサンドイッチを作るか話し合いお買い物へ。協力してサンドイッチ作りをしました。



**めんこい動物がいっぱい！「牧場見学」**  
今年、ひまわり迷路でも有名な「ふれあい牧場」にお邪魔しました。ポニーに乗せてもらったり、ヤギの赤ちゃんやウサギに触ったり、とても楽しい時間を過ごしました。



**最後の夜  
幻想的なファイアーストーム**  
この研修会での最大のイベント。雪も降りはじめ、幻想的な雰囲気の中、最後の夜を迎えました。



**夕食は焼肉パーティ！**  
最後の夜は豪華に焼肉パーティ。今年も一般の人から鹿肉をご提供いただき、おいしくいただきました。



**うまく入るか？  
玉入れレクリエーション**  
今年も本別町青年協議会を中心とするメンバーに指導していただき、玉入れにチャレンジ。



最後は中央公民館前で再会を誓う儀式「チクチャク」。南三陸町のジュニアリーダーたちは再会を誓ったあと、楽しかった思い出を胸に本別町を後にしました。



**涙の閉会式**  
スピッツの曲「チエリ」がかかった瞬間から、涙が……。こんなに大泣きをした閉会式は初めてでした。

3月29日(日)

### 自分の力を高めてほしい研修会

今回の事業では、この交流会の中心である本別ボランティアクラブかめの中高生にほぼ企画進行をお願いしました。正直、大人がお膳立てをして、参加者に取り組みさせた方が担当者としてはとても楽。当然大人がやった方が失敗も少なく、スピーディに事を進めることができます。しかし、これではこの事業をしている意味がありません。参加するみんなが、自分たちで内容を考え、自分たちで進めて、自分たちで振り返り、反省して次につなげていく。大人は困っているようならヒントを与え、アドバイスすればいいし、反省するところでは一緒に考えてあげたいだけだと考えています。

そのため企画立案やプログラム進行をするときに、試行錯誤と紆余曲折したことが多かったのでしょう。また緊張が解き放たれたのではないのでしょうか。終わった寂しさ、充実感、悔しさ、色々な思いが交錯しての閉会式での大粒の涙。中高生の参加者のみんなは本当によく頑張ったと思います。なんでも一生懸命取り組めば、たとえそれがうまくいかなくても絶対に何かが心に残っているはず。参加者のみなさんには今回のふるさと交流で経験したことを胸に、これからもどんどん先に歩いていってほしいと願っています。

(社会教育課社会教育担当)



**夕食は激旨「カレーライス」**  
市街地婦人会のみなさんによるカレーライスの夕食。5杯もおかわりをした参加者もいました。ごちそうさまでした！



**アイスブレイクで仲間作り**  
開会式のあとは、本町高校生参加者企画によるアイスブレイクをして楽しみました。

3月26日(木)



**南三陸のジュニアリーダーたちが到着！**  
いつも元気な南三陸ボランティアサークル「ぶらんこ」9人が来町。夏に南三陸町で行われたジュニアリーダー初級研修で本町の中高生がお世話になった皆さんです。

## 第24年次 本別町・南三陸町 ふるさと交流研修会



**転んでも大丈夫！  
「雪中レクリエーション」**  
中学1年生の企画による雪中レク。去年は「鹿のふん」だらけで転ぶに転べない場所でしたが、今年は大丈夫。



**なかなか進まない  
「クロスカントリースキー」**  
昨年と違って、とても雪が多く思いきり楽しむことができました。

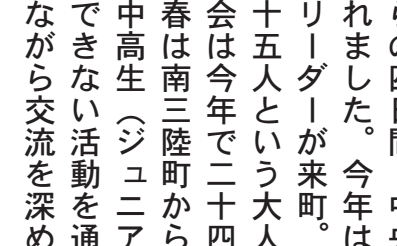


三月二十六日(木)からの四日間、中央公民館を中心とするさと交流研修会が行われました。今年、宮城県南三陸町から九人の中高生ジュニアリーダーが来町。本別町からの参加者三十六人と合わせて四十五人という大人数での交流研修会となりました。この研修会は今年で二十四回目。夏は本別町から宮城県南三陸町へ、春は南三陸町から本別町へと、少年活動のリーダーを目指す中高生(ジュニアリーダー)が、その地域で、その季節しかできない活動を通じて、忍耐力や協調性、企画力などを学びながら交流を深めています。

3月27日(金)



**爆笑！「班対抗大運動会」**  
宿泊しているネパールあしよろに戻り、中学3年生の企画による班対抗で大運動会をしました。風船割り、玉運び、クイズなどで盛り上がりしました。



**昼食はおいしい「お餅」！**  
お昼ごはんでは、今年も本別餅つき保存会十五夜会のみなさんにご協力いただき、大自然の中でとてもおいしいおもちをいただきました。



お昼ごはんでは、今年も本別餅つき保存会十五夜会のみなさんにご協力いただき、大自然の中でとてもおいしいおもちをいただきました。

3月28日(土)



**みんなでサンドイッチ作り**  
班でどんなサンドイッチを作るか話し合いお買い物へ。協力してサンドイッチ作りをしました。



**めんこい動物がいっぱい！「牧場見学」**  
今年、ひまわり迷路でも有名な「ふれあい牧場」にお邪魔しました。ポニーに乗せてもらったり、ヤギの赤ちゃんやウサギに触ったり、とても楽しい時間を過ごしました。



**最後の夜  
幻想的なファイアーストーム**  
この研修会での最大のイベント。雪も降りはじめ、幻想的な雰囲気の中、最後の夜を迎えました。



**夕食は焼肉パーティ！**  
最後の夜は豪華に焼肉パーティ。今年も一般の人から鹿肉をご提供いただき、おいしくいただきました。



**うまく入るか？  
玉入れレクリエーション**  
今年も本別町青年協議会を中心とするメンバーに指導していただき、玉入れにチャレンジ。



最後は中央公民館前で再会を誓う儀式「チクチャク」。南三陸町のジュニアリーダーたちは再会を誓ったあと、楽しかった思い出を胸に本別町を後にしました。



**涙の閉会式**  
スピッツの曲「チエリ」がかかった瞬間から、涙が……。こんなに大泣きをした閉会式は初めてでした。

3月29日(日)

### 自分の力を高めてほしい研修会

今回の事業では、この交流会の中心である本別ボランティアクラブかめの中高生にほぼ企画進行をお願いしました。正直、大人がお膳立てをして、参加者に取り組みさせた方が担当者としてはとても楽。当然大人がやった方が失敗も少なく、スピーディに事を進めることができます。しかし、これではこの事業をしている意味がありません。参加するみんなが、自分たちで内容を考え、自分たちで進めて、自分たちで振り返り、反省して次につなげていく。大人は困っているようならヒントを与え、アドバイスすればいいし、反省するところでは一緒に考えてあげたいだけだと考えています。

そのため企画立案やプログラム進行をするときに、試行錯誤と紆余曲折したことが多かったのでしょう。また緊張が解き放たれたのではないのでしょうか。終わった寂しさ、充実感、悔しさ、色々な思いが交錯しての閉会式での大粒の涙。中高生の参加者のみんなは本当によく頑張ったと思います。なんでも一生懸命取り組めば、たとえそれがうまくいかなくても絶対に何かが心に残っているはず。参加者のみなさんには今回のふるさと交流で経験したことを胸に、これからもどんどん先に歩いていってほしいと願っています。

(社会教育課社会教育担当)



**夕食は激旨「カレーライス」**  
市街地婦人会のみなさんによるカレーライスの夕食。5杯もおかわりをした参加者もいました。ごちそうさまでした！



**アイスブレイクで仲間作り**  
開会式のあとは、本町高校生参加者企画によるアイスブレイクをして楽しみました。

3月26日(木)



**南三陸のジュニアリーダーたちが到着！**  
いつも元気な南三陸ボランティアサークル「ぶらんこ」9人が来町。夏に南三陸町で行われたジュニアリーダー初級研修で本町の中高生がお世話になった皆さんです。

## 第24年次 本別町・南三陸町 ふるさと交流研修会



**転んでも大丈夫！  
「雪中レクリエーション」**  
中学1年生の企画による雪中レク。去年は「鹿のふん」だらけで転ぶに転べない場所でしたが、今年は大丈夫。



**なかなか進まない  
「クロスカントリースキー」**  
昨年と違って、とても雪が多く思いきり楽しむことができました。

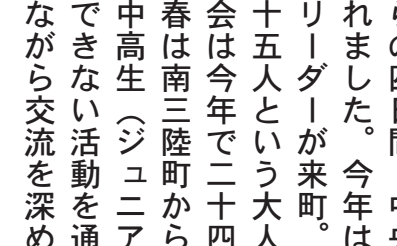


三月二十六日(木)からの四日間、中央公民館を中心とするさと交流研修会が行われました。今年、宮城県南三陸町から九人の中高生ジュニアリーダーが来町。本別町からの参加者三十六人と合わせて四十五人という大人数での交流研修会となりました。この研修会は今年で二十四回目。夏は本別町から宮城県南三陸町へ、春は南三陸町から本別町へと、少年活動のリーダーを目指す中高生(ジュニアリーダー)が、その地域で、その季節しかできない活動を通じて、忍耐力や協調性、企画力などを学びながら交流を深めています。

3月27日(金)



**爆笑！「班対抗大運動会」**  
宿泊しているネパールあしよろに戻り、中学3年生の企画による班対抗で大運動会をしました。風船割り、玉運び、クイズなどで盛り上がりしました。



**昼食はおいしい「お餅」！**  
お昼ごはんでは、今年も本別餅つき保存会十五夜会のみなさんにご協力いただき、大自然の中でとてもおいしいおもちをいただきました。



お昼ごはんでは、今年も本別餅つき保存会十五夜会のみなさんにご協力いただき、大自然の中でとてもおいしいおもちをいただきました。



# HELLO 本別中学校

## 教育目標

力行 力いっぱい学ぶ生徒  
方正 真面目に考え行動する生徒  
錬磨 身も心も鍛える生徒

地域の教育力を生かした職場体験学習  
「本別学びの日」関連事業～祈風事業の中で～



本別町国民健康保険病院で



本別温泉グランドホテルで



フォトファクトリー西村で



浮舟で



本別消防署で



ツルヤ本別店で



欧風ケーキ工房かねもりで



本別中央保育所で

生徒一人ひとりが主体的に自己の進路を選択、  
決定できる能力やしっかりとした勤労観、職業観を育てる

本別中学校では、生徒の頑張る姿を家庭・地域に発信しています

5月31日(日)に、平成21年度 本別中学校体育祭が実施予定となっています。  
どうぞみなさんご来校し、生徒の活躍をご覧ください

# まなび自書

生涯学習情報

## 本別町マメに出前講座の利用を お待ちしております

本別町マメに出前講座は、町民の皆さんの学びたい、聞きたい内容をメニューの中から選んでいただき、町民・官公庁職員・民間団体職員・町職員が講師となり町民の皆さんの所へ出向き、お話しするものです。

生涯学習についてのお問い合わせは、  
企画振興課 企画・生涯学習担当  
☎22-8121 (課直通)

### 利用条件

- ・町内に在住・勤務・在学している5人以上の団体、グループが対象です
- ・開催場所は町内の施設等とします
- ・開催時間はメニューにより異なります。おおむね、2時間以内を目安にしてください
- ・官公庁編、町職員編については無料です。民間団体編、町民編については、それぞれご確認ください
- ・講座に必要な材料費などは、参加者負担となります

### 申し込み

- ・利用グループの代表者が、開催希望日の2週間前までに、企画振興課 企画・生涯学習担当へ申請書を提出してください
- ※申請書は企画振興課に備え付けのものか、町ホームページに掲載してあるものをご利用ください
- ・開催日程の調整が必要となる場合があります。事前に担当へご相談いただくと、スムーズに受け付けることができます

### 注意事項

- ・要望、苦情をお聴きすることが目的の講座ではありませんので、あらかじめご了承ください
- ・公序風俗を乱すおそれのあるときや政治、宗教、営利を目的としているとき、またはこの事業の趣旨に反しているときは、ご利用いただけません

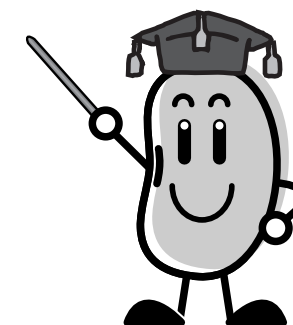
※講座のメニューについては、本別町ホームページで確認いただくか、企画振興課 企画・生涯学習担当へお問い合わせください

【本別町ホームページアドレス】

[http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/living/culture/life\\_study.html](http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/living/culture/life_study.html)

本別町では、「学び実感プラン21(本別町生涯学習計画)」を策定し、生涯を通じて町民自らが学び、高まることを目指して生涯学習に取り組んでいます。そのきっかけとして、町民や団体、町職員などが講師となって

少人数グループなどに講座を行う事業を実施しています。※受講グループはもちろん、講師となる「まちの先生」も随時募集していますので、知識や技術を生かす場としてご参加ください





## 農産物付加価値向上プロジェクト「クレイマメ」スイーツ試作、試食会 3/25

「クレイマメ」シリーズの第1回スイーツ試作、試食会が3月25日、中央公民館で開催されました。この取り組みは、道の支援を受け北海道フードマイスターの深江園子氏をアドバイザーに招き、「クレイマメ」スイーツの商品化と町内での販売を目指すもの。この日は、札幌市のパティシエ草野裕子さんが考案、試作した、マドレーヌなど「お土産にできるお菓子」と、



ロールケーキなどの「生ケーキ類」5品のスイーツを、クレイマメの会関係者など22人が試食し、意見交換しました。

## 文部科学省へ派遣 4/1

4月1日から、小川芳幸主査が文部科学省（生涯学習政策局生涯学習推進課放課後子どもプラン連携推進室生涯学習推進係）へ研修のため派遣されました。小川主査は主に、平成19年度から厚生労働省と文部科学省の両省連携で行われている、放課後や週末などに子供たちが安全に遊んだり生活できる場の確保や、地域住民との交流などに取り組む「放課後子どもプラン」についての研修を受けます。研修期間は1年です。



## マンガに夢中 4/2~3

子供たちの春休みに合わせた「図書館マンガワールド」が4月2日、3日、図書館で開催されました。マンガを通して本に触れてもらうことを目的に開かれたこの企画では、手塚治虫全集やドラえもん、名探偵コナンなど昭和40年代から現在までのマンガ1,000冊以上が用意されました。訪れた約60人の子供たちは床一面に広げられたマンガの中から、好みのマンガを探し、夢中になって読んでいました。



## 親子のためのふれあい音楽会 4/3

家庭支援・教育事業「なかよし」の親子のためのふれあい音楽会が4月3日、健康管理センターで開催されました。本別高校吹奏楽部（矢ノ目知恵顧問）16人がTVアニメメドレーなど全9曲を演奏。訪れた、22組50人の親子は、曲に合わせて手拍子をしたり高校吹奏楽部員自作のマラカスを振るなど楽しいひとときを過ごしました。演奏終了後には、高校生と子供たちの手遊び、抱っこなどの触れ合いも行われました。



## 気を付けて行ってらっしゃい 4/10

交通安全指導員会（泉野健会長）による「春の登校時の交通安全キャンペーン」が4月10日、本別大橋交差点ほか町内4か所で実施されました。交通指導員をはじめ本別警察署員、地域交通安全活動推進委員、学校関係者、すきやきたいなど約40人が通学する小学生から高校の児童・生徒に、ポケットティッシュとメモ帳300セットを手渡ししながら、「気を付けて行ってらっしゃい」などと声を掛けて交通安全を呼び掛けました。



## きれいなお花をありがとう 4/13

今年も、北海道農業大学校（樋口廣作校長）からパンジー・ナデシコ・キンギョ草の花48株が4月13日、NPO法人ほんべつつつじの園に贈られました。これは、平成11年より毎年農業大学校の卒業生に対してつつじの園から、本別町の思い出として、手作りのはがきセットを贈っており、そのお礼として贈られているものです。贈呈式では、園生代表の舟山幸枝さんが「きれいな花を本当にありがとうございます。大切に育てます。」とお礼を述べ、園生は一足早い春の訪れを味わっていました。



## きれいに塗り替えられました！ 4/18

本別建友会（三木哲会長）の会員約50人が4月18日、ボランティアで道の駅「ステラ★ほんべつ」の旧ホームにあるひさしと中央小学校遊具の塗装を行いました。これは、地域貢献活動として毎年行われているもので、色を塗り変えられたひさしと遊具は、お客さんや子供たちの喜ぶ顔を待ち望むかのように、きれいに生まれ変わりました。また、平成13年から毎年町内公共施設にある遊具の塗装や植樹祭準備等多くの活動に支援をいただいていることから、砂原勝副町長から感謝状が伝達されました。



## さわやかに駆け抜ける 4/19

第23回ほんべつ公園クロスカントリー大会（本別陸上クラブ主催）が4月19日、本別公園内で開催されました。町内はもとより、帯広や釧路など管内外の小学1年生から70歳まで134人が参加し、起伏に富んだ2.1km、3.2km、8.0kmのコースに挑み、気持ちの良い春の陽ざしの中、さわやかな汗を流していました。



## 春の交通安全キャンペーン

春の全国交通安全運動期間に合わせて、初日の4月6日に北海道警友会本別支部（木田弘支部長）



北海道警友会本別支部

の会員14人が、4月9日に本別ライオンズクラブ（糸田達一会長）の会員17人が北8丁目ふれあい公園で、4月10日には、本別建友会（三木哲会長）の会員約45人が、南4丁目の国道242号線沿いで、道行くドライバーに「お茶、洗剤、ガム」などを手渡ししながら、「デイトライト運動に協力を」「スピードダウンをお願いします」などと、交通安全を呼び掛けました。



本別ライオンズクラブ



本別建友会

情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121（課直通）

# みんなの健康

297

女性にとって関心の高い病気である乳がん。三十五〜六十四歳の女性では、がんによる死亡原因のトップが乳がんであるにもかかわらず、一度も検診を受けなかったものが多い。日本では今後、乳がん患者数のさらなる増加が予測されています。

## 女性の20人に1人が乳がん!?

乳がんの初期には、体調不良などの自覚症状はほとんどありません。自己チェックで異変を見つけられるといっても、乳がんの大きさは0.5〜1cmくらいにならないとしこりとして触れることが難しいので、早期発見にはやはりがん検診が有効といえます。町の乳がん検診では「視触診」と「マンモグラフィ（乳房のX線撮影）」を実施しています。マンモグラフィは、視

触診では発見できないしこりを診断することができないもので、必要な人にはその場で超音波検査も行っています。超音波検査は小さなしこりを発見するだけでなく、しこりが良性か悪性かを診断することができ、がんの早期発見ができるようになったため、死亡率は減少傾向にあります。国が推奨する乳がん検診は、マンモグラフィと視触診の併用検診で頻度は二年に一回です。町では対象者を「年度内偶数年齢の女性」として

いますので、毎年三月末までの年齢が偶数年齢の人が検診対象者となります。また、乳がんが三十代から増え始めていることから、今年度より受診対象を四十歳以上の女性から三十歳以上の女性に引き下げました。乳がん検診は毎年十月を予定しています。自分の身体を守るのには自分しかいませんので、ぜひこの機会に検診をお受けください。

健康管理センター  
保健師 五十川 奈央

## 道の駅「ステラ★ほんべつ」がオープンしました

4/20

「道の駅」登録証の伝達を受け、北海道で107番目の道の駅「ステラ★ほんべつ」が4月20日、旧本別駅舎にオープンしました。高橋正夫町長は、「中心街から本別町の元気を発信する拠点として、NPO法人を中心に集らずに一步一步進んでいきたい」と挨拶。当日は、訪れた鉄道マニアや町民など大勢でにぎわい、記念キップやパンの販売に行列ができていました。



▲帯広開発建設部安田修部長から高橋町長に「道の駅」登録証が手渡されました（4月2日）



◀道の駅「ステラ★ほんべつ」オープン初日

# 銀河ホップアップ

— 足寄町・陸別町から —

## 足寄町

「地質の日」記念

十勝最古の石と

最新の石をみよう

5月10日は地質の日です。足寄町でデスマスチルスの研究史と「十勝最古の石と最新の石」を確認しませんか。

□とき **5月10日(日)**

□内容

10時 博物館集合、デスマスチルス観察  
11時 足寄町螺旋へ移動、昼食

□詳細 足寄動物化石博物館

☎2519100

## 陸別町

2009

オフロードバトル

陸別サーキットを会場にバギー車、ATV約50台によるオフロードバトルが開催されます。サーキット内を疾走するバギー車の爆音を体感してみてください。



□日時 **5月24日(日)**  
スタート午前9時

□場所 陸別サーキット  
(陸別町ウエンベツ)

□入場料 大人 1200円  
(割引券で2000円引き)  
高校生以下 無料

※割引券配布場所は電話でお問合せください

□問合せ先 陸別町役場産業振興課内  
足寄郡陸別町字陸別東1条3丁目  
☎2712141 FAX2712798

## 愛情銀行

社会福祉協議会の「愛情銀行」への寄付で町関連の指定寄付分です。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

平成21年4月21日

★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金  
金100,000円……………美里別東中 背戸田諄子

## ご寄付ありがとうございます

平成21年3月23日から4月7日

次の通りご寄付をいただきました。  
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町国民健康保険病院人工透析室指定  
金50,000円……………柴町 杵渕春光
- ★新入学児童用  
交通安全愛のスズ61個  
……………本別町商工会女性部 部長 小川睦子  
※子供たちが交通事故に遭わないようにと願いをこめ、昭和52年から毎年スズが寄付され、これまで約4,700人の新入学児童に贈られています
- ★道の駅「ステラ★ほんべつ」指定  
ガーデンテーブルセット 3点  
……………社団法人十勝池田地方法人会本別会 会長 野田 仁  
本別町商工会青年部 部長 柏崎 秀行  
本別町商工会女性部 部長 小川 睦子

- ★陸上競技場整備費指定  
金50,000円……………匿名
- ★特別養護老人ホーム物品購入費指定  
金300,000円……………チエトイ1 長谷川寛三  
金100,000円……………山手町 遠山 順 継
- ★老人ホーム指定  
トイレトペーパー 80ロール  
……………JA本別町女性部 部長 篠原寿美江  
※毎年行われているこの寄付は、(株)ホクレン商事エコープほんべつ店に設置されている牛乳パック回収箱からの還元によるもので、同女性部では「今年も会員をはじめ町民の皆さんから寄せられた牛乳パックのお陰です」と語っています

# 広報ほんべつ

## 第967号

平成21年5月1日発行  
印刷/本別印刷株式会社

# 本のある暮らし

98

# 世界に一つだけの絵本

## 図書館ファースト・ブック事業

### お誕生

3月後半から  
4月前半の  
届出分

上出桃子<sup>ももこ</sup> 篤司<sup>あつし</sup> 3/11 北7丁目  
新津美羽<sup>みほ</sup> 良明<sup>りょうめい</sup> 3/19 仙美里元町  
松井礼央<sup>れいお</sup> 浩樹<sup>こうじゅ</sup> 3/19 向陽町  
天池陸人<sup>りくひと</sup> 鉄美<sup>てつみ</sup> 4/1 木札内  
川崎綾平<sup>あやひら</sup> 直宏<sup>なおひろ</sup> 4/5 向陽町  
前田弥雅<sup>やび</sup> 剛<sup>たけし</sup> 4/7 中央小学校

### ご結婚

(宮野下 睦<sup>むつみ</sup> 柳 町  
増田 拓美<sup>たくみ</sup> 中札内村  
(薩田 尚文<sup>しょうぶん</sup> 弥生町  
森下 美幸<sup>みゆき</sup> 北6丁目  
(渡邊 薫<sup>かほる</sup> 向陽町  
小川 麻紀<sup>あさのり</sup> 清水町  
(小川 雅彦<sup>みやびこ</sup> 押 帯  
関川 美沙樹<sup>みさあき</sup> 神奈川県  
(白山 英明<sup>ひであき</sup> 柏木町  
久保 美智子<sup>みちこ</sup> 清水町

### おくやみ

川村 優<sup>ゆう</sup> 74歳 3/19 勇足元町  
遠山キヨ子<sup>きよこ</sup> 84歳 3/26 山手町  
式見 昇<sup>のぼる</sup> 84歳 3/28 美里別東上  
長谷川キミ<sup>きみ</sup> 92歳 3/30 チエ-1  
鈴木 鐵夫<sup>てつお</sup> 83歳 4/1 南2丁目  
立石 弘昭<sup>ひろあき</sup> 77歳 4/5 柏木町  
橋本幸二郎<sup>ゆきじろ</sup> 83歳 4/6 清流町  
前田 文男<sup>ぶんお</sup> 85歳 4/7 美里別東中  
山口はるみ<sup>はるみ</sup> 92歳 4/9 勇足西3  
鈴木 ツル<sup>つる</sup> 93歳 4/11 北8丁目  
奥田スミ子<sup>すみこ</sup> 68歳 4/14 栄 町

### わたしたちのまち

前月比

人口 **8,510人(-144)**

男 **4,171人(-98)**

女 **4,339人(-46)**

世帯数 **3,847戸(-79)**

〔3月末日住民基本台帳〕

赤ちゃんがはじめて出会う絵本「ファースト・ブック」。ママの手づくり絵本を、おなかの中の赤ちゃんに読んであげませんか。

図書館で、楽しく簡単な手づくり絵本を作りましょう。どなたでもステキに作れます。



### 身近な材料、自由な発想で絵本づくり



赤ちゃんの誕生を待つ家族の写真、胎児のエコー写真、折り紙や切り紙、チラシや包装紙の切り取り、手紙や新聞の切り抜き…残したいもの、伝えたいことばは、なんでも絵本になります。

※妊婦さんの体調に合わせますので、申込時にご相談ください。

お問い合わせ先

**本別町図書館**

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

発行 本別町

編集 企画振興課  
広報電算担当

住所 北海道中川郡本別町  
北2丁目4番地1

電話 0156-22-8121  
FAX (直通)  
0156-22-3237

ホームページ  
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>



資源を大切に——  
広報ほんべつは、道産間伐材を使用しています。